
一般演題 | 手術 (POP)

LSC RSC

座長:石川 哲也、森山 真吾

2023年8月5日(土) 17:10 ~ 18:05 一ツ橋ホール (日本教育会館 3F)

17:20 ~ 17:25

[1A46P]ロボット支援腹腔鏡下仙棘靭帯固定の初期経験

○本郷 祥子^{1,3}、寺田 美希子^{2,3}、香山 晋輔^{2,3}、高田 晋吾^{1,3} (1. 大阪警察病院 泌尿器科、2. 大阪警察病院 産婦人科、3. 大阪警察病院 女性骨盤底センター)

キーワード：ロボット支援腹腔鏡下仙棘靭帯固定

【緒言】ロボット支援腹腔鏡下仙骨靭帯固定術(RASC),腹腔鏡下仙骨靭帯固定術(LSC)は POP手術の標準的な手術となっているが,予期せず前縦靭帯の露出が困難な事がある。代替案として仙棘靭帯固定を行ったので初期経験と問題点を報告する。【対象と方法】2019年7月~2022年12月までに RASCを予定した184例中,岬角前面に総腸骨静脈が走行し前縦靭帯の露出が困難で,仙棘靭帯固定を施行した4例.Stage II 子宮脱1例,Stage III膀胱瘤1例,Stage III膀胱+Stage II 子宮脱1例,Stage III膀胱瘤+子宮脱1例だった。全例で腹膜切開部から切開を延長し B層で剥離,膈から右坐骨棘を触れながら右仙棘靭帯尾骨筋複合体の前面を露出。子宮は垂全摘し,恥骨頸部筋膜の層で剥離し前メッシュを固定,直腸靭帯を貫通させ,先の仙棘靭帯尾骨筋複合体に1-0テフデッサーで1~2針固定した。【結果】年齢 72.5(67-77)歳,BMI22.8(21.1-23.9).コンソール時間180(169-219) minだった。4例とも術後6か月以上経過したが,うち2例で再発を認めた(Stage II 膀胱瘤1例,Stage II 膀胱瘤+Stage II 子宮脱)。【考察】再発の2例とも再発時は左 lateral defectを認めていた。1例は子宮脱も併発しており,子宮頸部の固定ないしは仙棘靭帯の固定にも問題があるのではないかと推察される。仙棘靭帯固定は非常に優れた方法であるが,左 lateral defectがある症例では左右の仙棘靭帯に固定する必要があると考えられる。【結語】ロボット支援下に仙棘靭帯固定を行い,その成績と問題点を検討した。